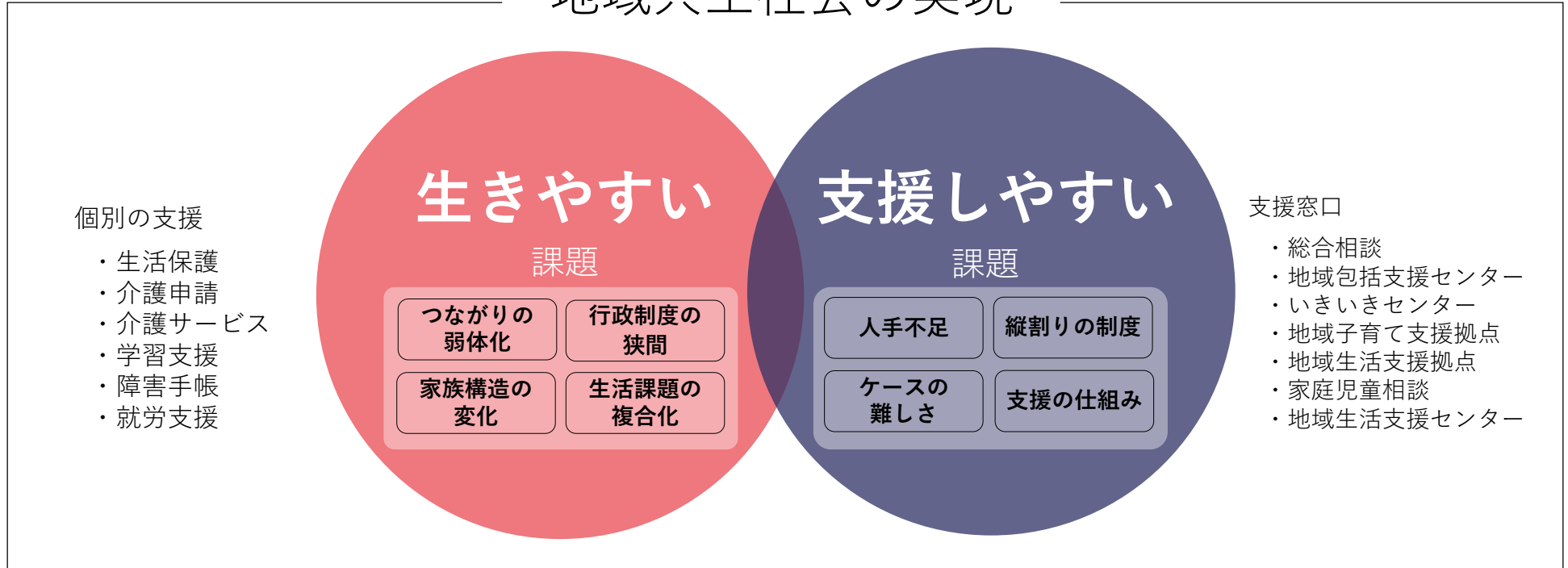


令和4年度～
柏市重層支援体制整備事業の方向性

事業概要



地域共生社会の実現



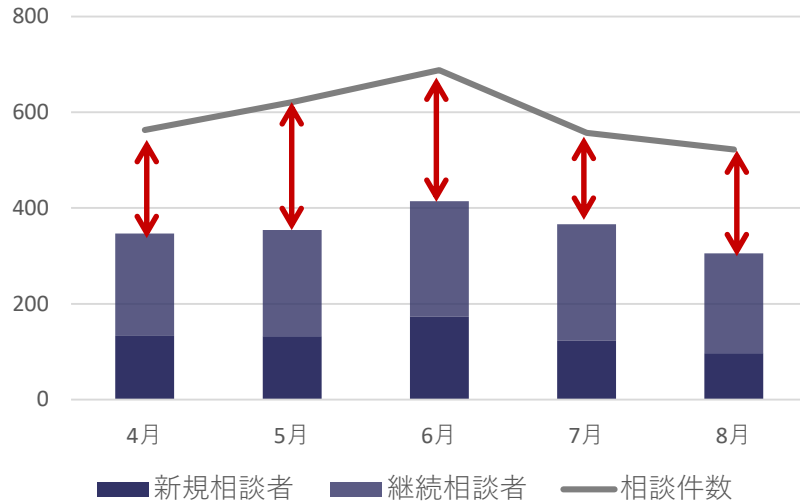
新たな支援制度の構築ではなく

既存の支援機関や専門職の**負担を軽減**しながら、

身近な地域で市民を支援し、その人らしい生活を送れる社会

総合相談窓口（あいネット）の相談実績

令和3年度 総合相談窓口受付の相談件数



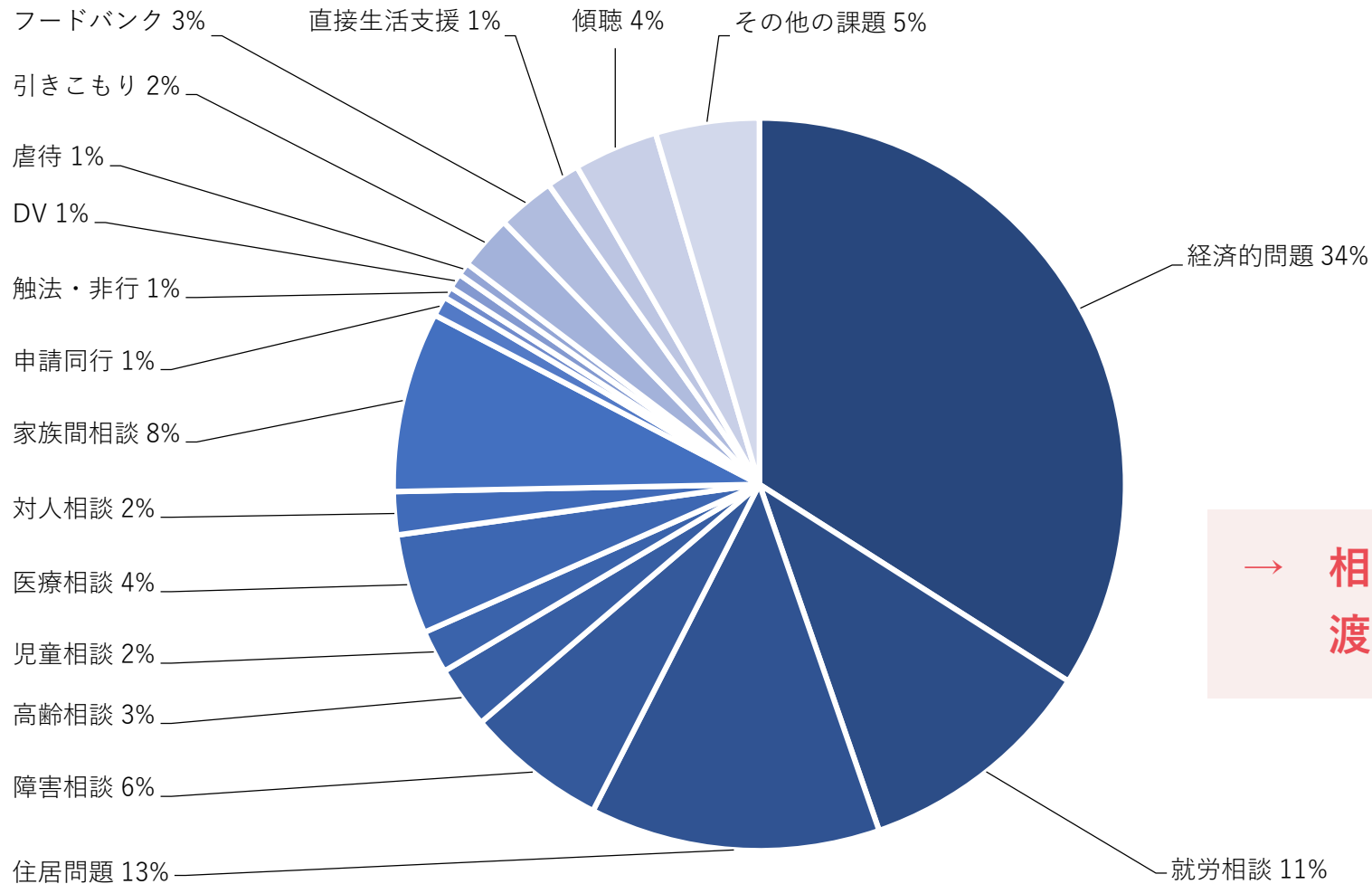
	4月	5月	6月	7月	8月
相談件数（延べ）	1356	1507	1707	1763	1668

	4月	5月	6月	7月	8月
新規相談者	133	132	173	123	97
継続相談者	214	222	241	243	208
相談者計 ^①	347	354	414	366	305
内容別相談件数計 ^②	563	621	688	557	522
差 ^{②-①}	216	267	274	191	217



- ・ 継続相談者の数が減少しない
- ・ 1か月に同じ対象者の相談が4～5回（週に1度は相談している）
→ **相談内容が複雑なため、早期に解決しない**
- ・ 相談者数と相談件数の差が大きい
→ **複数の課題の相談が多い**

総合相談窓口（あいネット）の相談内容（4～8月計）



→ 相談が多岐に渡っている

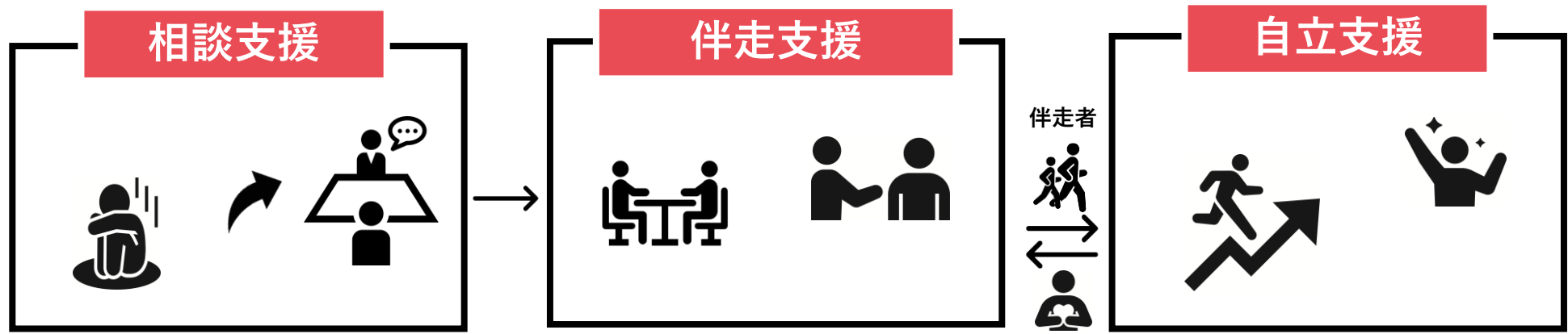
各相談機関から他の機関につないだ件数

	令和3年度								合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
地域包括支援センター	9	5	6	10	10	6	9	4	59
地域生活支援拠点	0	0	0	0	1	5	4	7	17
いきいきセンター	3	5	6	7	9	6	1	4	41
家庭児童相談	2	2	3	0	7	1	7	7	29
地域子育て支援拠点（はぐはぐ）	0	0	0	0	0	1	1	1	3
総合相談（あいネット）	4	5	5	6	9	5	4	4	42
計	18	17	20	23	36	24	26	27	191



- ・ 複合課題を受付し，つなぎ先が不明なことから総合相談へのつなぎ需要が増えつつある
- ・ 専門相談機関だけでは対応できず別機関へのつなぎを必要とするケースが多い

→生きづらさを感じている人が多い



STEP 1
相談を受け止め、
関係機関に連携

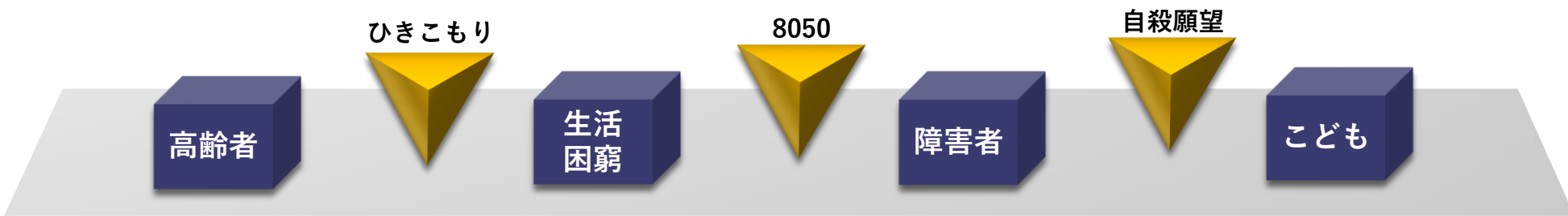
STEP 2
課題解決に向けての伴走支援

伴走者
見守り

STEP 3
事後のフォローアップ

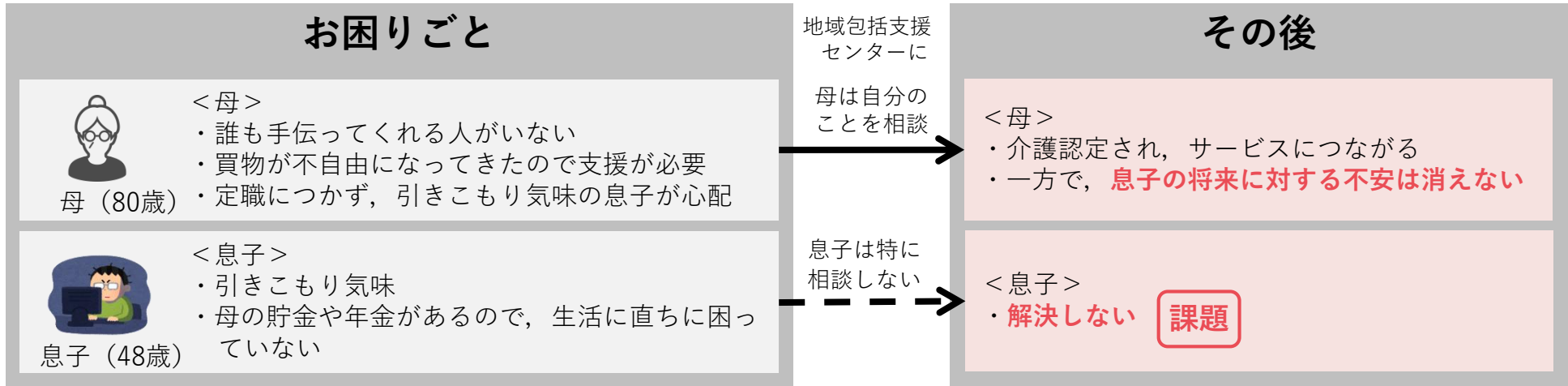


各制度のはざまに落ちないように専門機関同士が連携し「面」による相談支援体制を構築

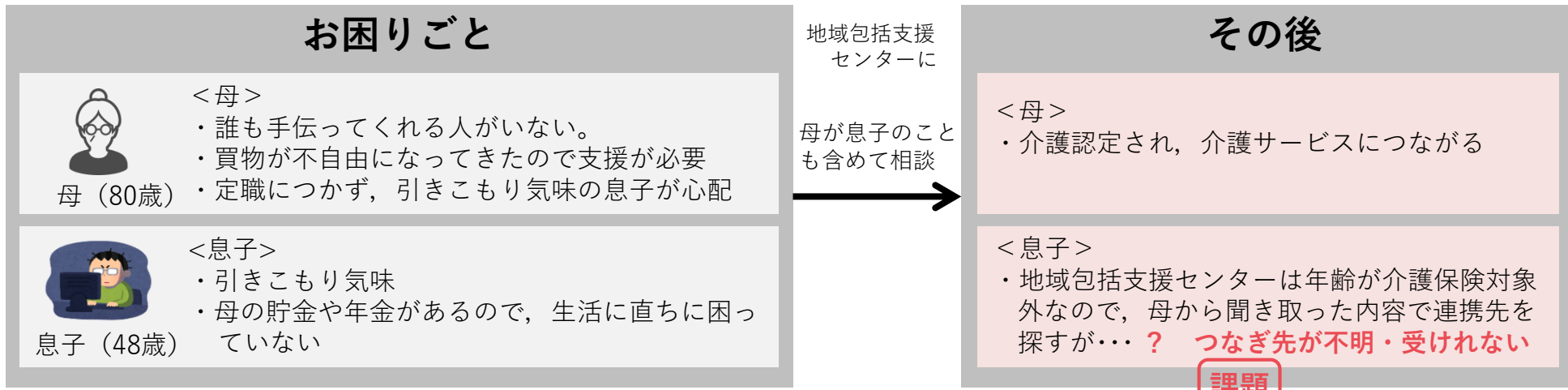


現状

ケース 1




ケース 2



今後


お困りごと



<母>

- ・誰も手伝ってくれる人がいない。
- ・買物が不自由になってきたので支援が必要

母（80歳）



<息子>

- ・引きこもり気味（外部からはわからない）
- ・母の貯金や年金があるので、生活に直ちに困ってはいない

息子（48歳）

地域包括支援センターに
母が息子のことも含めて相談

その後

<母>

- ・介護認定され、介護サービスにつながる

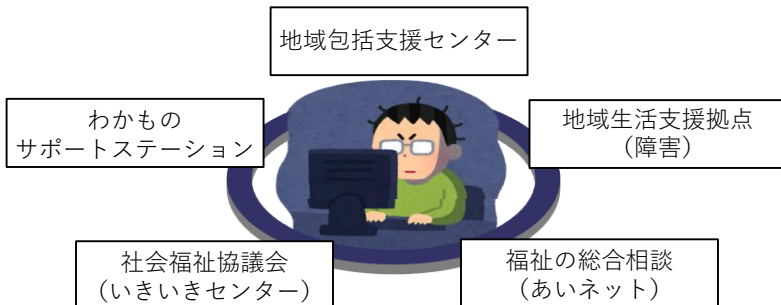
今まで受けられなかった相談を受け止める

<息子>

- ・対象エリアに対して、専門機関が集まって、課題解決のための【**ブロック会議※（個別ケース検討）**】を開催

新 ブロック会議（エリアごとに設置）

利用者を中心にエリアの専門機関が集まって支援を協議

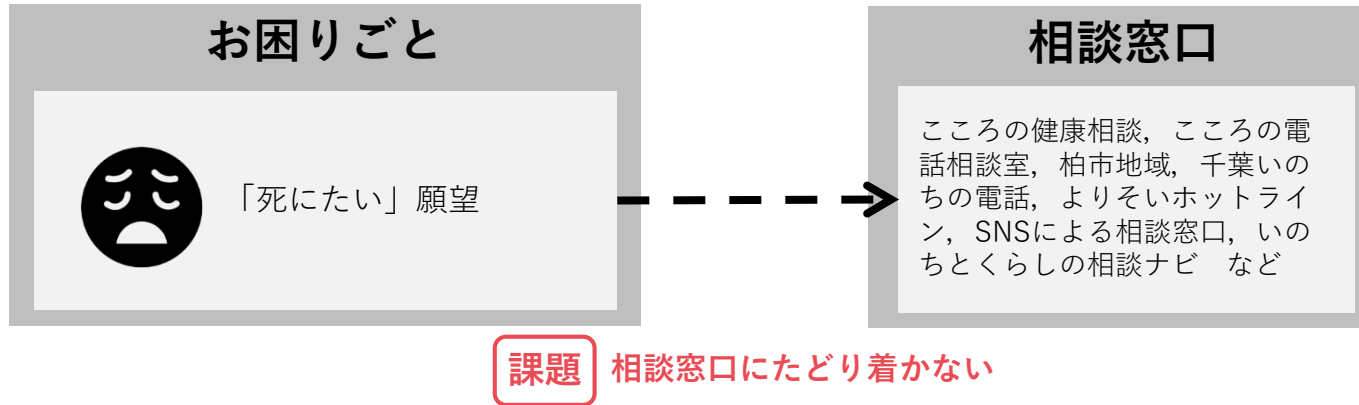


考えられる対応策

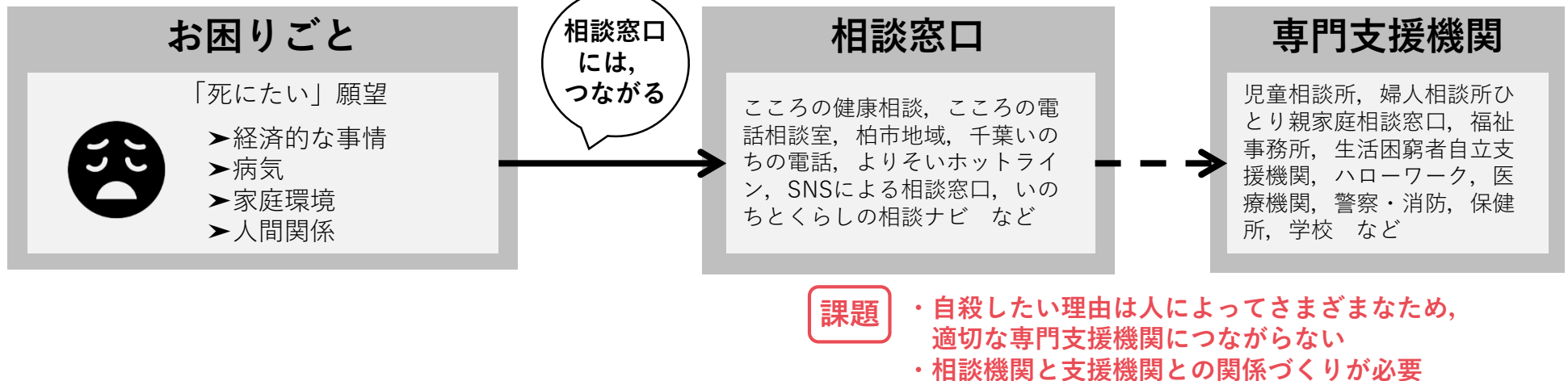
- ・福祉の総合相談によるアウトリーチでご本人とコンタクト **新**
- ・障害手帳の取得
- ・わかものサポートステーションによる就労支援・社会参加支援
- ・いきいきセンターや民生委員による見守り

現状

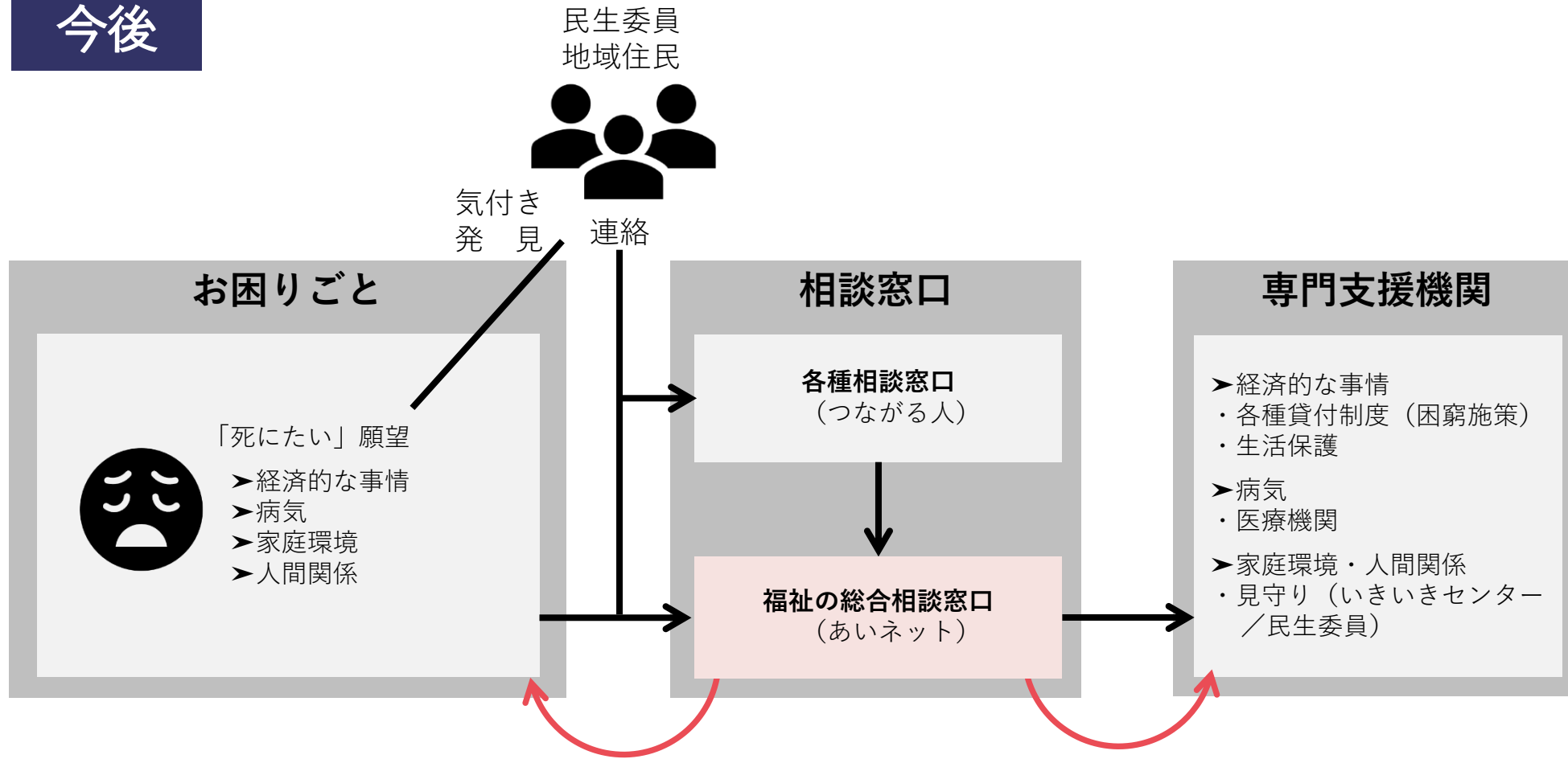
ケース 1



ケース 2



今後



新 アウトリーチの体制を整え、相談窓口に来られない人への対応を行う

専門支援機関へつなぐ
+
福祉の総合相談窓口 (あいネット) が引き続き継続的に伴走支援を行う

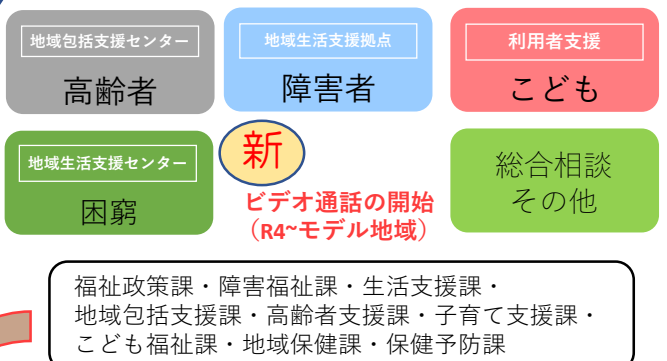
福祉課題が複雑化・複合化する相談者の支援については、その課題に応じた地域の専門相談支援機関を紹介するだけでなく、各機関が実際に連携し、包括的な支援をする必要がある。

		領域 横断的 ➔ 限定的		
		柏市全体や市の福祉施策	地域や特性課題	個別ケース
目標	長期	将来像	<p>大会議（ゼネラル会議） 市内の全相談機関及び行政による会議体 ex) 各種協議会, 審議会</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>ゼネラルコーディネーター設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柏市全体の福祉政策について、情報交換や共有の場をセッティング ・ エリアごとの課題から必要な政策について、行政機関とともに検討 </div>	
		課題への対応	<p>中会議（エリア会議） 4 エリアごとに開催する会議体 ex) その他（各専門相談支援機関の地域会議, 各種部会）</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>エリアコーディネーター設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別ケースでの困難ケースを関係機関から受付 伴奏支援に向けて、必要なコーディネートを行う ・ 困難ケース検討を通じて、地域課題の抽出、課題解決に向けた案を協議する場をセッティング </div>	
		短期	処遇方針	<p>小会議（ブロック会議） 担当者レベルで開催する会議体 ex) 担当者会議</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>21ブロック等</p> </div>

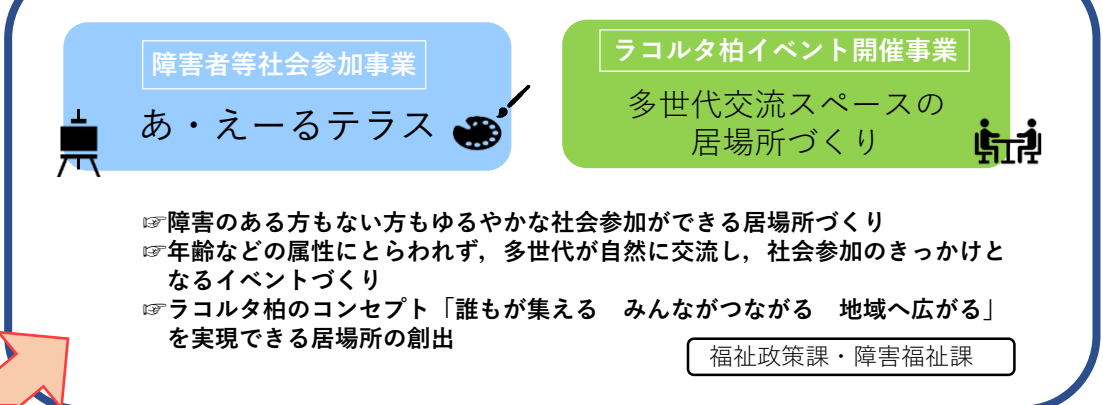
多機関協働事業と専門機関同士の連携について（イメージ）

	小会議 (ブロック会議)	中会議 (エリア会議)	大会議 (ゼネラル会議)
エリア別	21ブロック別	4～5ブロック程度に1つ	市全体（1ブロック）
参加機関 ・参加者	専門機関を中心に関係者が参加 (ケースごと都度柔軟に) 場合によって、本人、家族なども参加	専門機関を中心に関係者が参加	行政と専門機関の代表者
会議の まとめ役	エリアコーディネーター 各専門相談機関	エリアコーディネーター	ゼネラルコーディネーター
テーマ	個別の利用者に対し関係者が支援策を話合う	各ブロック会議での議論などを踏まえ、地域課題の受け止めや支援策を議論	市域全体の福祉トピックなどについて
具体例	「Aさん家族の8050問題に」について、 当該家族の個別課題を一元的に把握・共有しつつ対応する必要がある、そのエリア内の ①包括支援センター ②地域生活支援拠点（障害） ③柏市社会福祉協議会 ④福祉の総合相談 などが参加する会議を開催	各ブロック会議での議論を積上げ ・引きこもりの人の居場所づくり ・支援の必要な人への見守り などの在り方など、地域課題に対する対応策を議論する	<ul style="list-style-type: none"> ・市の福祉施策や課題について、市全体で、情報共有や意見交換を行う ・エリアごとの課題から必要な政策について、行政機関とともに検討

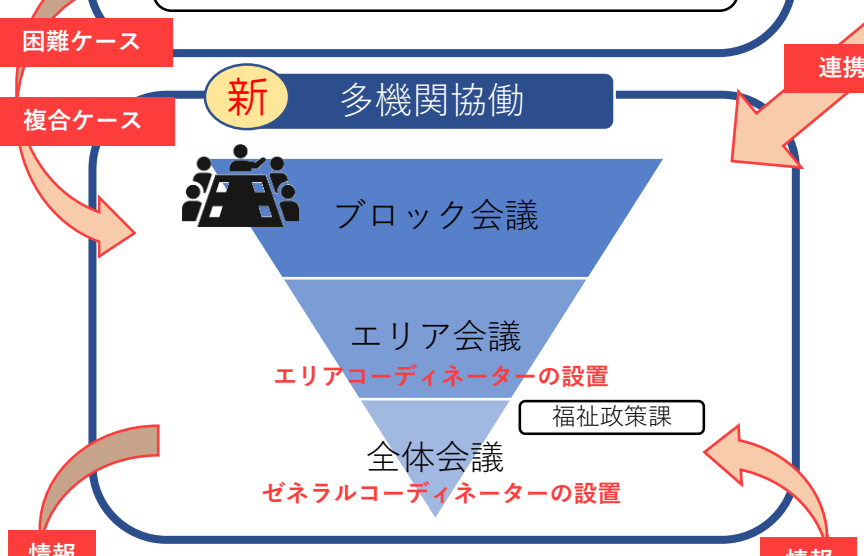
断らない相談窓口



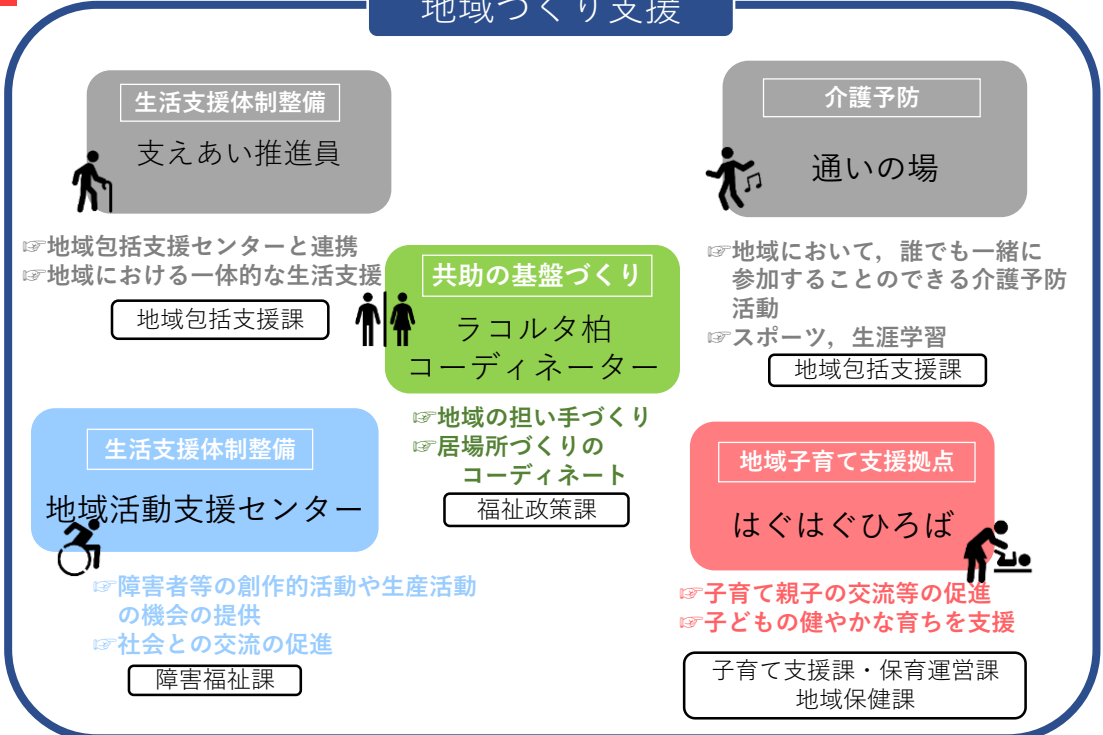
新 参加支援



新 多機関協働



地域づくり支援



アウトリーチ

